



# 2010年度第2四半期 決算説明資料

2010年 10月

 **三菱重工業株式会社**

# <目次>

## I . 2010年度第2四半期決算実績

・第2四半期決算実績 サマリー	4
・第2四半期決算実績 セグメント別	5
・税引前利益増減要因	6
・経常利益・特別損益	7
・決算実績 セグメント別	
〈船舶・海洋〉	8
〈原動機〉	9
〈機械・鉄構〉	10
〈航空・宇宙〉	11
〈汎用機・特殊車両〉	12
〈その他〉	13
・貸借対照表	14
・補足資料	15

## II . 2010年度業績見通し

・業績見通し サマリー	17
・業績見通し セグメント別	18

# I . 2010年度第2四半期決算実績

---

## 第2四半期決算実績 サマリー

(単位: 億円)

	'09-2Q累計	'10-2Q累計	増減
受注高	11,157	12,010	+852
売上高	13,216	13,568	+351
営業利益	251	645	+394
経常利益	26	434	+407
特別損益	△ 20	△ 33	△ 12
税金等調整前 四半期純利益	5	400	+394
四半期純利益(損失)	△ 31	173	+204

**受注高** ⇒ 対前年同期 +852億円増加 (11,157億円 → 12,010億円)

船舶・海洋部門及び原動機部門が減少したものの、需要の回復傾向が見られる汎用機・特殊車両部門、冷熱部門や、機械・鉄構部門、航空・宇宙部門も増加し、前年同期を上回った。

**売上高** ⇒ 対前年同期 +351億円増加 (13,216億円 → 13,568億円)

原動機部門、航空・宇宙部門が減少したものの、引渡船が増加した船舶・海洋部門をはじめ、機械・鉄構部門、汎用機・特殊車両部門、冷熱部門が増加し、前年同期を上回った。

**純利益** ⇒ 対前年同期 +204億円増加 (△31億円 → 173億円)

円高の進行が減益要因となったが、売上の増加に加え、採算改善等により、前年同期から改善した。

# 第2四半期決算実績 セグメント別

(単位: 億円)

	受注		売上		営業利益		
	'09-2Q累計	'10-2Q累計	'09-2Q累計	'10-2Q累計	'09-2Q累計	'10-2Q累計	
船舶・海洋	551	462	1,055	1,502	125	58	
原動機	5,268	4,802	4,872	4,563	317	480	
機械・鉄構 ※	1,783	2,047	2,558	3,021	△ 53	203	
航空・宇宙	1,187	1,884	2,137	1,784	31	△ 46	
汎用機・特殊車両 ※	1,323	1,520	1,339	1,590	△ 151	△ 81	
その他 ※	冷熱	706	836	682	812	△ 39	4
	工機・その他	541	622	820	547	20	27
消去または共通	△ 205	△ 167	△ 250	△ 254	-	-	
合計	11,157	12,010	13,216	13,568	251	645	

### ※【報告セグメントの変更について】

- ・「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用及び、当社組織の再編に伴い'10年度業績より報告セグメントを右図の通り変更する。
- ・表中に表示している'09-2Qの実績及び本資料8～13ページのグラフ中に記載している'09年度の実績は、変更後のセグメントに合わせて組替えたもの。

### 【変更前】

機械・鉄構	
中量 産 品	汎特
	冷熱
	産機 印刷機械、産業機器、 工作機械
その他	

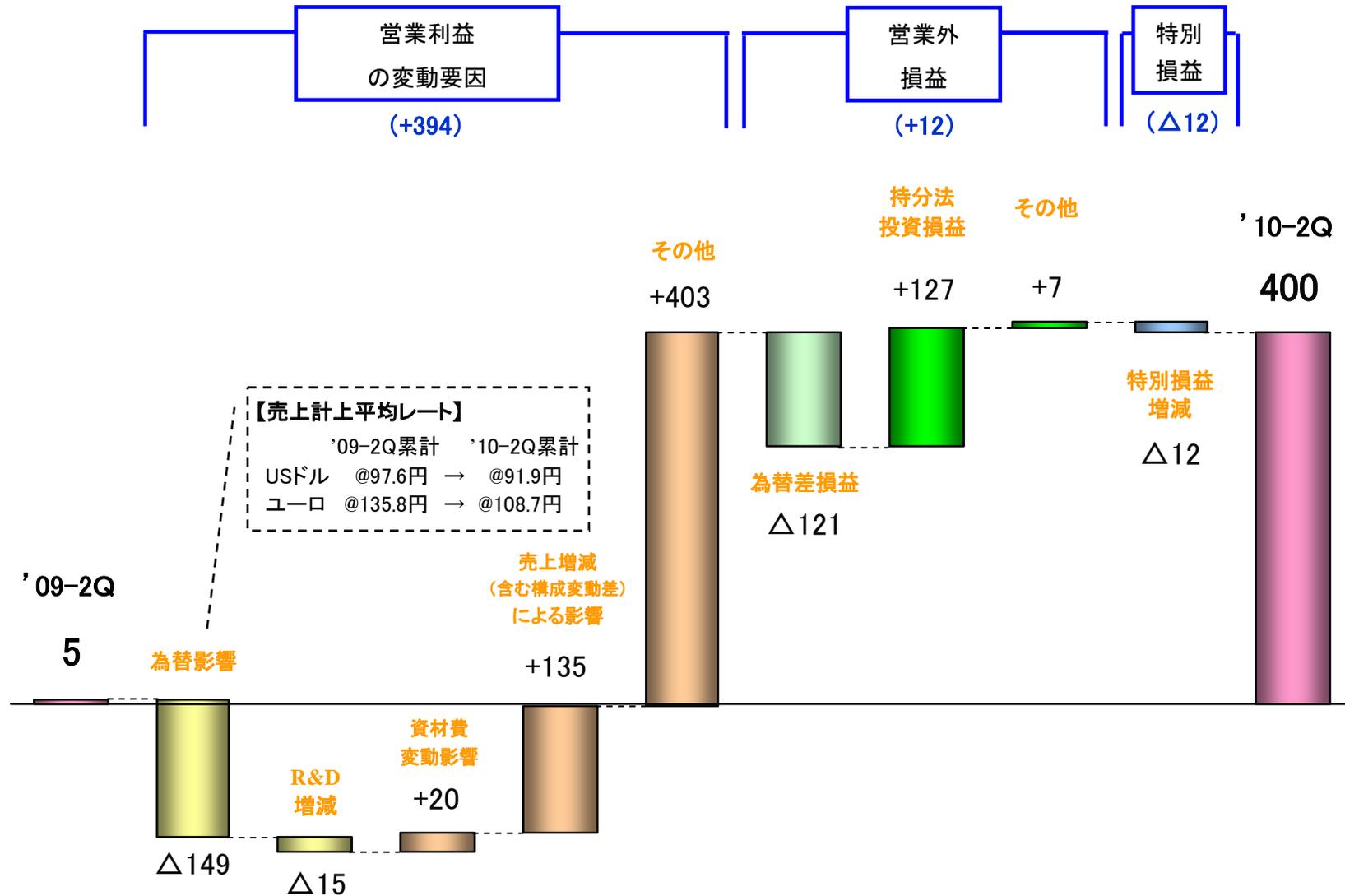
### 【変更後】

機械・鉄構	
汎用機・特殊車両	
その他	冷熱
	工機・その他

 船舶・海洋、原動機、  
 航空・宇宙は変更なし

# 税引前利益増減要因

対前年同期 +394億円増加（5億円 → 400億円）



# 経常利益・特別損益

## ・経常利益 (対前年同期 +407億円(26億円→434億円))

(単位:億円)

		'09-2Q累計	'10-2Q累計	増減
<b>営業利益</b>		251	645	+394
	為替差損益	△ 18	△ 140	△ 121
	金融収支	△ 73	△ 75	△ 2
	持分法投資損益	△ 93	33	+127
	その他	△ 39	△ 30	+9
<b>営業外損益</b>		△ 224	△ 211	+12
<b>経常利益</b>		26	434	+407

## ・特別損益 (対前年同期 △12億円(△20億円→△33億円))

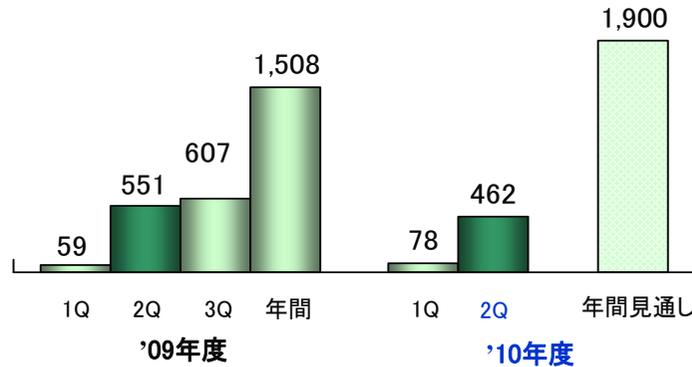
(単位:億円)

		'09-2Q累計	'10-2Q累計	増減
	・投資有価証券売却益	-	28	+28
<b>特別利益</b>		-	28	+28
	・投資有価証券評価損	-	△ 41	△ 41
	・資産除去債務	-	△ 20	△ 20
	・事業構造改善費用	△ 20	-	+20
<b>特別損失</b>		△ 20	△ 62	△ 41
<b>特別損益</b>		△ 20	△ 33	△ 12

# 〈船舶・海洋〉

(億円・各期の数値は累計)

受注



## 受注 : 対前年同期 $\Delta 88$ 億円の減少

・新造商船の受注環境は厳しい状況が続いている中、当期はVLCC2隻、RO-RO船、砂鉄運搬船各1隻の合計4隻を受注した。

### 【受注隻数】

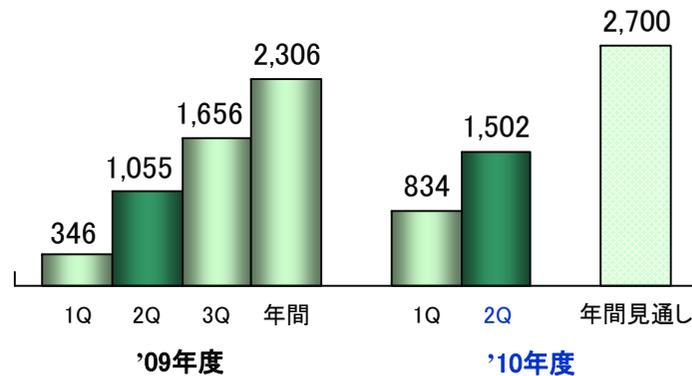
'09-2Q累計 : 6隻 (1Q: 0隻, 2Q: 6隻)

'10-2Q累計 : 4隻 (1Q: 0隻, 2Q: 4隻)

### 【契約残隻数】 49隻

(自動車運搬船10隻, 巡視船7隻, コンテナ船6隻, RO-RO船5隻 他)

売上



## 売上/損益 : 対前年同期 +447億円/ $\Delta 67$ 億円の増収減益

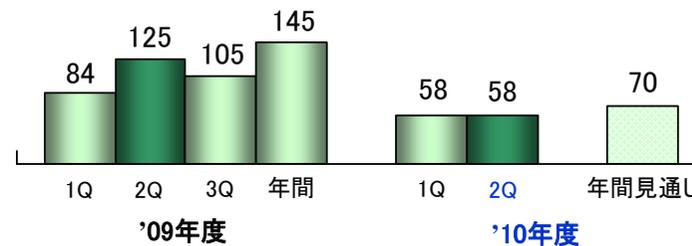
・当期はコンテナ船8隻、自動車運搬船3隻、LPG船2隻、モジュール運搬船1隻の合計14隻を引き渡した。

### 【引渡隻数】

'09-2Q累計 : 7隻 (1Q: 3隻, 2Q: 4隻)

'10-2Q累計 : 14隻 (1Q: 8隻, 2Q: 6隻)

営業利益



・損益は、円高の進行、受注工事損失引当額の見直しによる減額があったものの、売上増加に加え、実質的な採算改善は進んでいる。

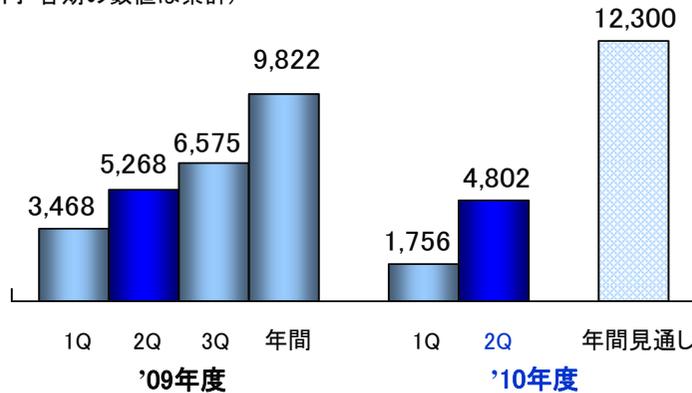
## 年間見通し :

営業利益 : 100億円から70億円へ修正

# 〈原動機〉

(億円・各期の数値は累計)

受注



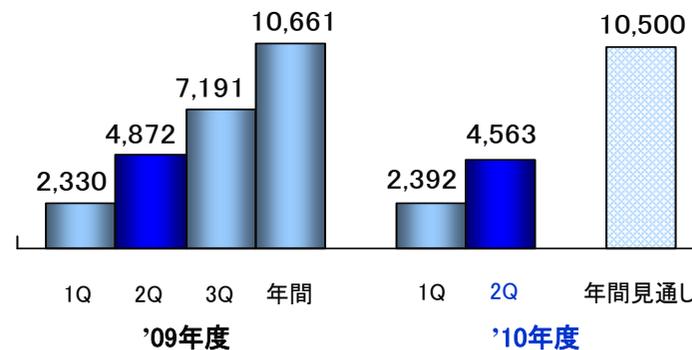
## 受注 : 対前年同期 $\Delta 466$ 億円の減少

- ・第2四半期では、国内外の複数の火力発電プラントを受注。
- ・円高により非常に厳しい受注環境になっているが、国内、アジア、中東を中心とした火力発電プラント、及び海外の原子力発電プラントの商談に積極的に対応している。

### 【ガスタービン受注台数】

- ・'09-2Q累計：6台（地域内訳：国内6台）
- ・'10-2Q累計：9台（地域内訳：アジア6台、国内3台）

売上



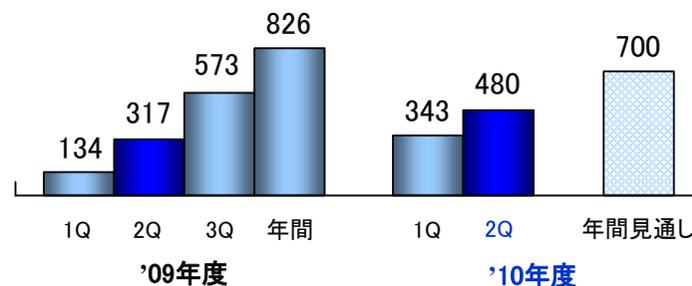
### 【ガスタービン契約残台数（単独）】

- ・'09-2Q末：67台（'09年度末：50台）
- ・'10-2Q末：48台

## 売上/損益 : 対前年同期 $\Delta 308$ 億円/ $+162$ 億円の減収増益

- ・売上は、ガスタービン、風車等が減少し、前年同期を下回った。
- ・損益は、円高の影響を受けたものの、プラント工事の採算改善が進んだこと等により、前年同期から増益になった。

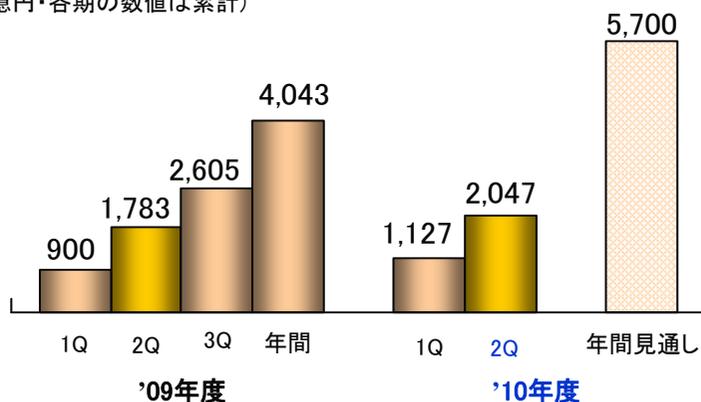
営業利益



# 〈機械・鉄構〉

(億円・各期の数値は累計)

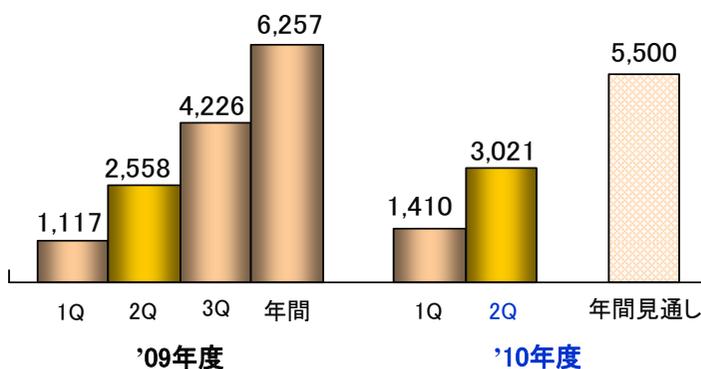
受注



**受注 : 対前年同期 +264億円の増加**

- ・国内新交通システムやインド向け製鉄機械等の受注により、前年同期を上回った。

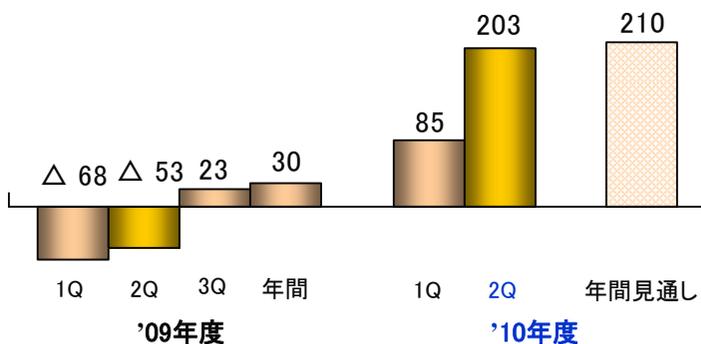
売上



**売上/損益 : 対前年同期 +463億円/+256億円の増収増益**

- ・売上は、海外の化学プラントを中心に工事が順調に進捗したこと等により、前年同期を上回った。
- ・損益は、売上の増加に加え、海外のプラント工事等の採算改善が進んだこと等により、前年同期から増益になった。

営業利益



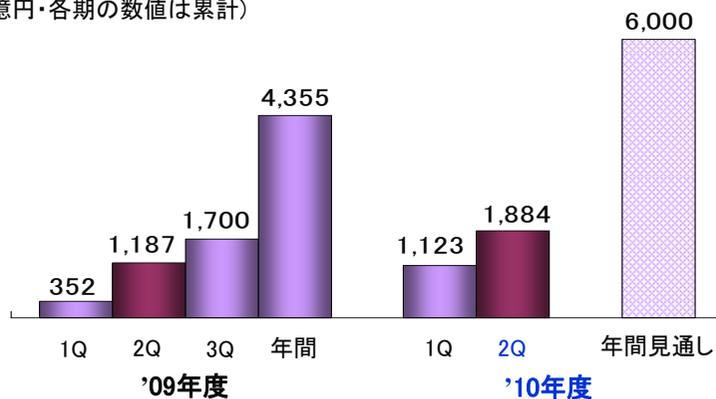
**年間見通し :**

営業利益 : 200億円から210億円へ修正

# 〈航空・宇宙〉

(億円・各期の数値は累計)

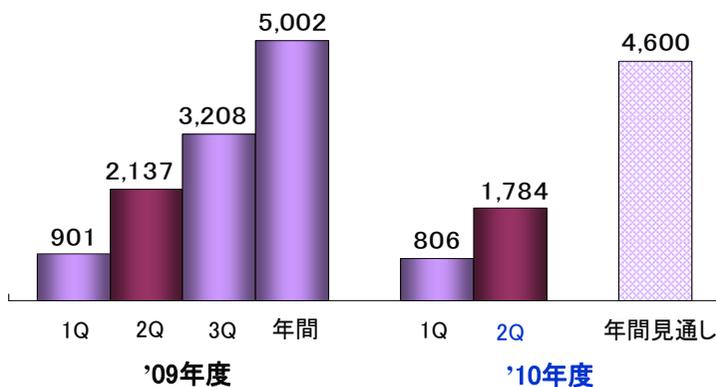
受注



**受注 : 対前年同期 +696億円の増加**

・民間航空機関係で増加し、前年同期を上回った。

売上



**売上/損益 : 対前年同期 △352億円/△78億円の減収減益**

・売上は、防衛関係、民間航空機関係が減少したことにより、前年同期を下回った。

【B777 引渡機数】

'09-2Q累計: 42機 ('09年度: 82機)

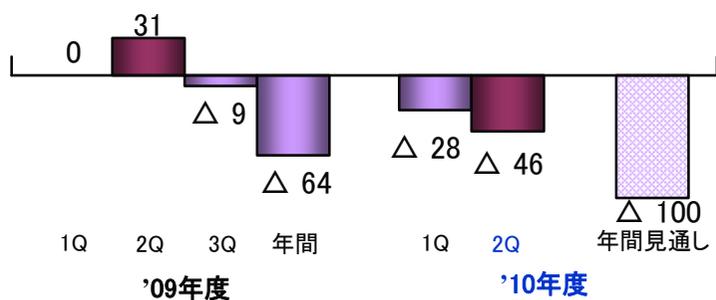
'10-2Q累計: 32機

【B787 引渡機数】

'09-2Q累計: 5機 ('09年度: 15機)

'10-2Q累計: 8機

営業利益

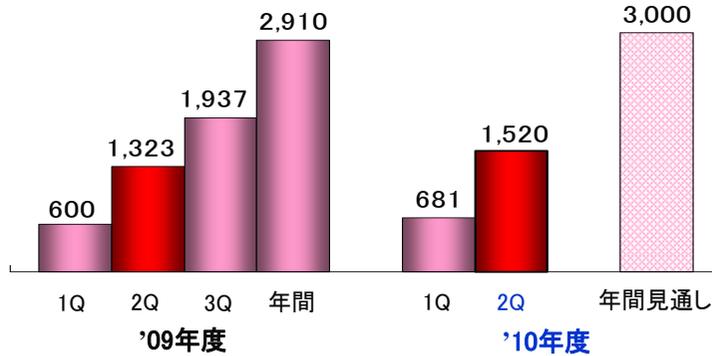


・損益は、為替が円高で推移したこと等により、前年同期を下回った。

# 〈汎用機・特殊車両〉

(億円・各期の数値は累計)

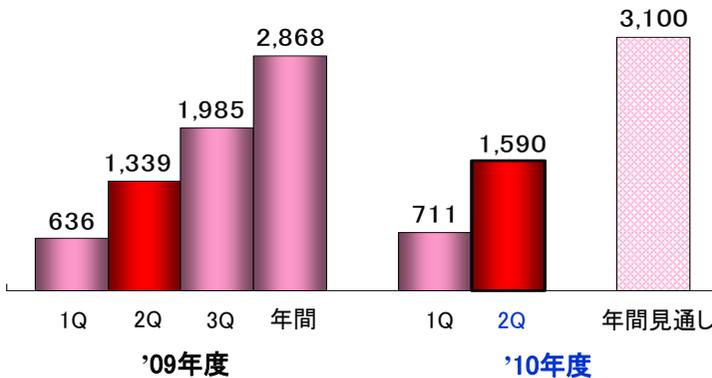
受注



**受注/売上 : 対前年同期 +197億円/+250億円の増加**

- ・自動車販売台数の伸びを受け、欧州、国内向けターボチャージャーが増加した他、建設機械メーカー向け小型エンジン、新興国向けフォークリフト等が増加し、前年同期を上回った。

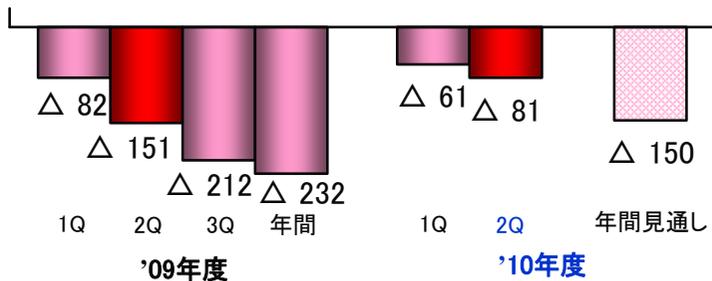
売上



**損益 : 対前年同期 +70億円の増益**

- ・円高の影響を受けたものの、ターボチャージャー、エンジン、フォークリフト等の売上増加及び採算改善の進捗等により、前年同期から赤字幅が縮小した。

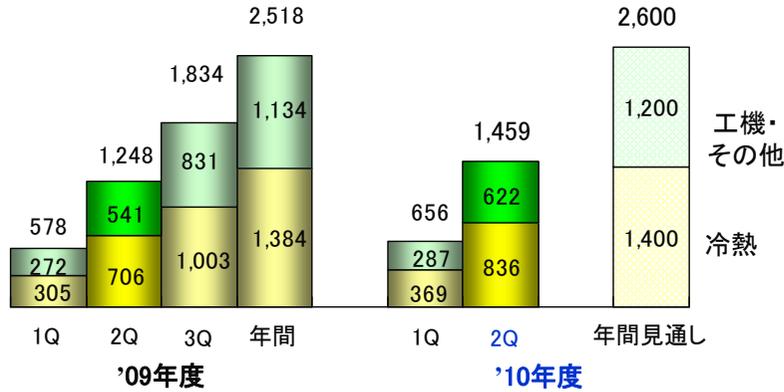
営業利益



# 〈その他〉

(億円・各期の数値は累計)

受注

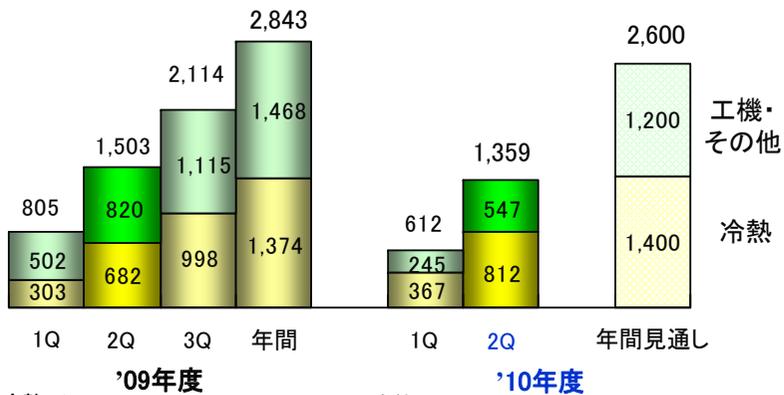


## 冷熱

受注/売上:カーエアコン、ルームエアコン、パッケージエアコンいずれも増加し、前年同期を上回った。

損益:売上増加に加え、採算改善の進捗等により、前年同期から改善した。

売上

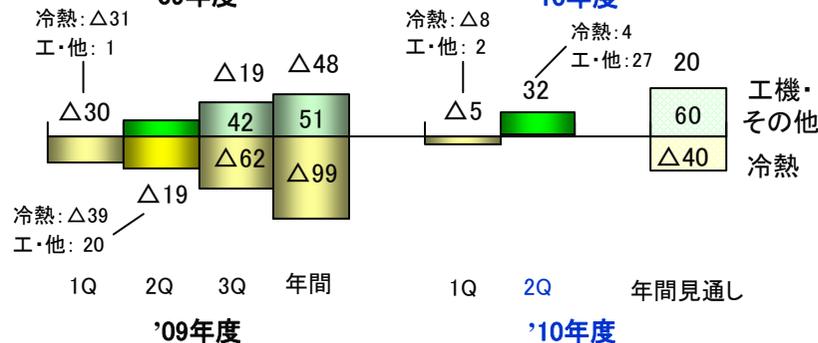


## 工機

受注/売上:自動車向け及び建設機械向けの歯車機械等の受注が増加した。

損益:採算改善の進捗等により、前年同期から赤字幅が縮小した。

営業利益



## その他

・不動産・建設

・情報・通信サービス

## 年間見通し:

営業利益: 0億円から20億円へ修正

(冷熱: △60億円から△40億円へ修正)

# 貸借対照表

(単位:億円)

	'09年度末 ( '10.3.31)	'10-2Q末 ( '10.9.30)	増減
<b>資産の部</b>			
売上債権	9,482	8,452	△1,029
たな卸資産	12,400	12,450	+49
その他流動資産	6,384	6,606	+222
流動資産計	28,266	27,508	△757
固定資産計	14,361	14,338	△23
<b>資産合計</b>	42,628	41,847	△781
<b>負債の部</b>			
買入債務	6,465	5,849	△616
前受金	3,890	4,588	+697
その他流動負債	5,202	5,054	△147
流動負債計	15,557	15,491	△66
固定負債計	13,782	13,304	△478
<b>負債合計</b>	29,340	28,796	△544
<b>純資産の部</b>			
株主資本	12,647	12,736	+89
評価・換算差額等	133	△184	△317
その他(少数株主持分他)	507	499	△8
純資産合計	13,287	13,050	△236
<b>負債及び純資産合計</b>	42,628	41,847	△781
<b>有利子負債残高</b>	14,953	14,027	△925

# 補足資料

## (1) 所在地別セグメント情報

(単位: 億円)

	'09-2Q累計		'10-2Q累計	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	12,425	271	12,599	605
北米	933	△ 17	828	0
アジア	455	12	618	17
欧州	524	△ 30	563	△ 3
その他	140	14	124	25
消去または共通	△ 1,262	-	△ 1,165	-
合計	13,216	251	13,568	645

## (2) 海外売上高

(単位: 億円)

	'09-2Q累計		'10-2Q累計	
アジア	1,719	(25%)	1,923	(26%)
北米	1,584	(23%)	1,384	(19%)
欧州	1,124	(17%)	1,054	(15%)
中南米	793	(12%)	1,149	(16%)
中東	974	(14%)	616	(8%)
アフリカ	551	(8%)	1,095	(15%)
大洋州	44	(1%)	62	(1%)
合計	6,793	(100%)	7,287	(100%)

## (3) 減価償却費・設備投資

(単位: 億円)

	'09-2Q累計	'10-2Q累計	'10年度見通し
減価償却費	669	637	1,400
設備投資額	970	627	1,500

## (4) 研究開発費

(単位: 億円)

	'09-2Q累計	'10-2Q累計	'10年度見通し
研究開発費	483	508	1,300

※'10年度の設備投資額見通しを1,600億円から1,500億円に変更

## Ⅱ. 2010年度業績見通し

---

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

## 業績見通し サマリー

(単位:億円)

	'09年度 (実績)	'10年度 (見通し)
受 注 高	24,762	31,000
売 上 高	29,408	28,500
営 業 利 益	656	750
経 常 利 益	240	350
当 期 純 利 益	141	200

◇未確定外貨に係る為替レートは1ドル=@¥85、1ユーロ=@¥110の前提  
(未確定 32億ドル、5億ユーロ)

# 業績見通し セグメント別

(単位: 億円)

	受注			売上			営業利益		
	'09年度	'10年度見通し		'09年度	'10年度見通し		'09年度	'10年度見通し	
		'10.7.30公表値	今回見通し		'10.7.30公表値	今回見通し		'10.7.30公表値	今回見通し
船舶・海洋	1,508	1,900	1,900	2,306	2,700	2,700	145	100	70
原動機	9,822	12,300	12,300	10,661	10,500	10,500	826	700	700
機械・鉄構※	4,043	5,700	5,700	6,257	5,500	5,500	30	200	210
航空・宇宙	4,355	6,000	6,000	5,002	4,600	4,600	△ 64	△ 100	△ 100
汎用機・特殊車両※	2,910	3,000	3,000	2,868	3,100	3,100	△ 232	△ 150	△ 150
冷熱	1,384	1,400	1,400	1,374	1,400	1,400	△ 99	△ 60	△ 40
工機・その他	1,134	1,200	1,200	1,468	1,200	1,200	51	60	60
その他※	2,518	2,600	2,600	2,843	2,600	2,600	△ 48	0	20
消去または共通	△ 397	△ 500	△ 500	△ 532	△ 500	△ 500	-	-	-
合計	24,762	31,000	31,000	29,408	28,500	28,500	656	750	750

### ※【報告セグメントの変更について】

- 「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用及び、当社組織の再編に伴い'10年度業績より報告セグメントを右図の通り変更する。
- 表中に表示している'09年度の業績は、決算実績を変更後のセグメントに合わせて組替えたもの。

### 【変更前】

機械・鉄構	
中量産品	汎特
	冷熱
	産機 印刷機械、産業機器、 工作機械
その他	

### 【変更後】

機械・鉄構	
汎用機・特殊車両	
その他	冷熱
	工機・その他

 船舶・海洋、原動機、  
 航空・宇宙は変更なし